

## 事業実施状況報告書

団体名	特定非営利活動法人 関西生活文化研究会おでかけ
事業名称	要介護高齢者の余暇活動のための外出ニーズに応える事業
事業実施期間	2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日
1. 実施内容 (実績)	<p>(1) 実施した事業内容 枚方市内に住む、要介護認定者に対する、車両を使った外出の支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の状況の確認</li> <li>・日程調整及び現地での介助方法の確認</li> <li>・車両への乗車の介助、降車後目的地内での移動の介助</li> </ul>
	<p>(2) 対象者・参加者 (例: 枚方市内に住む小・中学生 32名 など具体的に)</p> <p>対象者 枚方市内に住む要介護高齢者 18人 参加者 有資格者 6名</p>
	<p>(3) 実施体制 (事業を実施した人員体制や支援者や他団体との連携状況を記入すること)</p> <p>人員体制: 電話対応スタッフ、法人職員 2名 事務所にいる法人職員が電話での利用申込を受け付け、別の職員がシフト調整を行います。有資格者の活動できる日時を月初に確認し、利用申込とマッチングします。</p>
	<p>(4) スケジュール (事業開始から終了までのスケジュールを記入すること)</p> <p>2022年04月01日から2023年03月31日までの、毎週木曜日。13:30~17:30 当初の計画では水曜か木曜を想定していましたが、利用される方に分かりやすくするために、去年と同じ毎週木曜日と決めて実施しました。</p>

様式第 14 号 / 枚方市 N P O 活動応援基金

<p>2. 広報周知の方法 (実績)</p>	<p>(事業周知の方法を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット配布 (4月から、枚方市内の居宅介護支援事業所や高齢者施設、当会の福祉移送をすでに利用されている方やその家族へ、ポスティング、手渡し、郵送、メール送信といった方法で配布。5月以降は機会があるごとに同様に配布。)</li> <li>・ホームページを作成し、掲載</li> </ul>
<p>3. 事業実施による効果</p>	<p>(1) 事業実施により得られたと考えられる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護高齢者の閉じこもり防止</li> <li>・地域の店舗等の賑わいの保持</li> </ul> <p>(2) 効果の確認方法 2023年03月01日～15日で、アンケート調査を行いました。(61件の回答)</p> <p>1. 枚方市 N P O 活動応援基金について 知っている 12    少し知っている 12    あまり知らない 21    知らない 16</p> <p>2. 当会の 2022 年度補助事業について 知っている 8    少し知っている 10    あまり知らない 26    知らない 17</p> <p>3. 2で「知っている」「少し知っている」「あまり知らない」を選択された方へ、事業内容は外出機会の増加に効果があると思われませんか。 効果がある 12    多少効果がある 19    あまり効果がない 1    効果がない 0 わからない 2</p> <p>当会の今年度補助事業について、リーフレットを送付していても、「知っている」「少し知っている」の合計が 30%に満たなかった。 一方で、今年度補助事業について多少でも知っていただいている方の中では、90%以上の方が外出機会の増加に効果があると回答いただいた。 上記より、この外出支援活動はさらに継続して行うことができれば、より周知され外出機会の増加に繋がると期待される。 ただ、当補助事業に関する審査会での講評で、「同一事業を複数年度申請しているため、当該事業の発展性が乏しいと評価する。」と指摘いただいたので、この事業は今年度で終了することとした。</p>
<p>4. その他</p>	<p>2年連続で行っている活動で、去年よりも知っていただいている方が多いため、中には開始前に1年分の予約をされる方もいらっしゃいました。一方で、感染症の影響を心配して、出かけたけれど外出を控える方もおられました。 ホームページを作成したことで、この活動とは別に当会の福祉移送を知って利用申込される方も増えています。また、去年同様いろいろな方からの問い合わせを頂くことができました。(地域包括支援センターから紹介された個人、病院からの問い合わせ、薬局からの紹介、弁護士事務所や司法書士事務所から後見契約をしている方の送迎に関する問い合わせ、介護施設の相談員、遠方に住む方で両親が枚方に住んでいる方、など。) また、当会が枚方市 N P O 活動応援基金の補助対象事業を行っていることで、公益的な活動を行っている団体であるという評価を頂いており、社会的な信用が増えています。 なお、活動を知っていただく中で、利用希望の中に日時が合わない方が増えてきたため、事業を実施した木曜の午後以外でも活動の枠を広げています。そのため、利用実績としては予定より減少していますが、利用総数は増加しています。</p>

### 事業収支決算書

団体名	特定非営利活動法人 関西生活文化研究会おでかけ
補助対象事業の名称	要介護高齢者の余暇活動のための外出ニーズに応える事業
事業実施期間	2022年 4月 1日～2023年 3月 31日

【収入の部】

(単位：円)

項目 ※1	予算額	決算額	内容説明 (積算根拠等)
枚方市補助金(一般) (A)	104,000	104,000	補助金交付申請額 (一般寄附)
枚方市補助金(団体希望寄附) (B)	0	0	補助金額 (団体希望寄附)
自己資金	635,360	638,940	
活動収支 (福祉移送)	43,200	35,460	移送費 (2km未満108回、3km未満6回、4km未満1回)
活動収支 (自費介助)	72,000	57,500	介助費500円×115回
合計 (C)	854,560	835,900	

【支出の部】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	内容説明 (積算根拠等)
補助対象経費	人件費	220,000	有資格者への謝礼 1時間1100円×4時間×50回 ✓
小計 (E)	220,000	220,000	
補助対象外経費	賃借料	409,200	車両リース料
	賃借料	96,000	駐車場代
	通信運搬費	105,600	通信型ドライブレコーダー、スマホ、タブレット
	旅費交通費	23,760	5,100 ガソリン代
小計	634,560	615,900	
合計 (D)	854,560	835,900	

- ・【項目】 【予算額】は事業収支予算書と相違の無いようにして下さい。
- ・収入の合計 (C) = 支出の合計 (D) となるように記入して下さい。
- ・枚方市補助金枚方市補助金(一般) (A)は、補助対象経費の1/2かつ上限は30万円以内とします。
- ・枚方市補助金(一般) (A)と枚方市補助金(団体希望寄附) (B)を合わせて申請する場合は、補助対象経費から枚方市補助金(団体希望寄附) (B)を除いた額に対する枚方市補助金(一般) (A)。